

#### 4 カメムシ類による斑点米発生防止対策を徹底しましょう！

～昨年の多発生や暖冬等の影響により今年も発生が予想されます～

昨年産米は、早生品種を中心にカメムシ類による斑点米で格落ちする米が多発生しました。今年産米も引き続き多発生が予想されますので、下記の対策を徹底しましょう。

##### (1) 畦畔・農道等の草刈りを徹底しましょう！

カメムシの生息地となる農道畦畔等の草刈りを徹底し、カメムシの生息数を減らしましょう。特に「穂」の出る雑草の穂を出させないようこまめに草刈りを実施しましょう。

※草刈り重点推進期間：第2回目：7月10日～7月19日

##### (2) 水田内の雑草防除も行いましょう！

水田内に生えている、ヒエ、ホタルイ、スズメノテッポウなど「穂」をつける雑草はカメムシの生息場所となります。除草剤等でとりこぼした水田内雑草は早めに除去しておきましょう。

##### (3) 早生品種等は、2回防除を徹底しましょう！

無人ヘリによる共同防除は、コシヒカリの出穂期に合わせた1回防除となっています。出穂期の早い早生品種では防除適期からずれてしまうため、個人防除での対応が必要です。出穂期を基準にした適期防除を実施しましょう。

##### ※防除適期

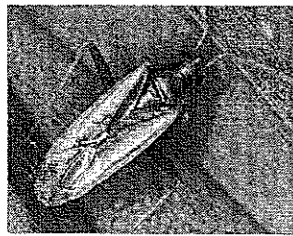
###### ア 粉剤の場合

1回目：出穂期の3日後～出穂期の10日後 2回目：1回目の防除から7日～10日後

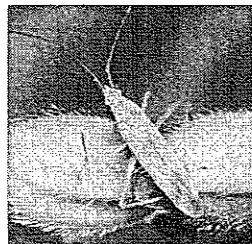
###### イ 粒剤の場合

出穂期～出穂期の7日後

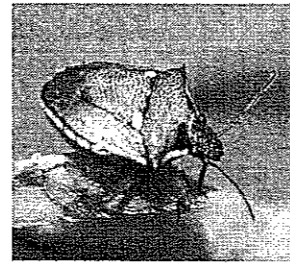
#### ○ 阿賀野市で発生が多いカメムシ類



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



オオトゲシラホシカメムシ

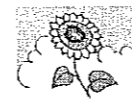
#### 5 いもち病をはじめその他の病害虫の発生にも注意！

・葉いもち：昨年は「こしいぶき」など発病がありました。発病しやすい「新之助」や「わたぼうし」などは予防対策を徹底しましょう。

・ニカメイチュウ：今年も阿賀野市の各地で発生がみられています。一世代の発生に注意してほ場を見回ってください。

・イナゴ：山沿いを中心に近年多発生しています。密度が高い場合防除を行いましょう。

・ツマグロヨコバイ：昨年、阿賀野市の各地で多発生がありました。今年も多発生の可能性がありますので、特に晩生品種は注意してください。



## 熱中症に気をつけましょう☀



農作業中の熱中症発生は7-8月が多く、屋外での作業中に集中しています。特に、70歳以上の方は、のどの渇きや気温の上昇を感じづらくなるので、注意が必要です。日中の気温が高い時間帯の作業は極力避け、どうしても必要な時は帽子を被り、作業時間を短くしましょう。

### ～熱中症予防のポイント～

- ① のどが乾いていなくても、20分おきに休憩をし、コップ1-2杯以上の水分を取りましょう。
- ② 単独作業を避け、作業は2人以上で行うか、時間を決めて声かけを行うなど、定期的に異常がないか確かめ合うようにしましょう。
- ③ ビニールハウスや畜舎などの炎天下ではない施設内も、高温多湿ならリスク大！  
風とおしをよくするなどの対策をしましょう。



阿賀野市イメージキャラクター「ごすっちょ」

### ～日常生活で心がけること～

#### ○暑くなる前に、熱中症に負けない体づくりをしておきましょう

きちんと食事をとることも熱中症予防になります。バランスよく食べる、朝ご飯をしっかり摂るなど、正しい食生活が基本です。  
(ビタミンB1を含む豚肉や卵、カリウムを含むほうれん草やバナナ、クエン酸を含む梅干しやパイナップルなどが効果的です)

#### ○暑くなってきたら、日々の体調管理に一段と気をつけましょう

体調不良や持病がある場合は、翌日の作業内容の変更を検討し、睡眠をしっかりとり、お酒はほどほどにしましょう。

## 見直そう！農業機械作業の安全対策

農林水産省の最新の調査データによると、近年300人以上の方々が農作業中の事故で亡くなっています。農機事故を未然に防ぐために操作時の安全確認と予防対策をもう一度考えてみましょう。

#### ○事故防止対策○

- ① 確実な運転操作とブレーキの連結の確認
- ② 安全キャブ・フレームの装着とシートベルトの着用
- ③ 公道を走行する際は、低速車マークや反射板の取り付け

